

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	園田学園女子大学短期大学部
設置者名	学校法人園田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	生活文化学科	夜・通信	6	0	2	8	7	
	幼児教育学科	夜・通信			3	9	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/kamoku/tankidaigakubu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	園田学園女子大学短期大学部
設置者名	学校法人園田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学内イントラネットのみで「職員名簿」として公表しているが、対外的には公表していない。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元兵庫県東播磨県民局長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定
非常勤	元㈱新販代表取締役社長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定
非常勤	元㈱夢舞台代表取締役社長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定
非常勤	兵庫県立大学名誉教授	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定
非常勤	元尼崎市役所市民局長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制への チェック機能及び 経営計画の策定
(備考)			
添付書類「学校法人園田学園 理事名簿」			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	園田学園女子大学短期大学部
設置者名	学校法人園田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程 シラバスの作成項目は、①講義のテーマ、②授業の到達目標、③授業の概要、④授業計画(各回の授業計画、準備学習時間を含む。)、⑤テキスト・参考書、⑥成績評価(評価の方法、評価の内容)、⑦目標に準拠した評価(ルーブリック)、⑧伝達と指示、⑨備考、⑩学生の授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善についての10項目である。上記に加えて、授業の方法(講義・演習・実験・実習の別)も表示している。上記の作成項目を教務課から教員に依頼し、教員が登録した後に、シラバスのチェック期間を設け、学部長、学科長、共通教育委員長、教職課程委員長がチェックを行い、修正期間に修正を行った上で公表している。 ・授業計画書の作成・公表時期 1 2月上旬から登録開始し、1月末に登録締切、その後に2月中旬のチェック期間、2月下旬の修正期間を経て、3月下旬にWEB上で公表している。	
授業計画書の公表方法	http://www.sonoda-u.ac.jp/syllabus/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) あらかじめ学生に示された授業計画書(シラバス)により、各授業科目の成績評価の方法、成績評価の基準に従って、学修成果の評価が行われている。この学修成果の評価に基づき、単位の授与が行われている。成績評価の方法は、授業科目により、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法を設定している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) G P A制度の概要及び分布状況資料については、ホームページ上で公表している。 学期末の履修科目の成績に基づき、あらかじめ設定した方法によりG P Aを算出している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpa.pdf https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpabunpuhyou.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ホームページ上で公表している。 学則に定められた卒業の要件を満たした学生に対して、卒業を認定している。卒業の認定は、学部別の教授会で学生の単位修得状況、修業期間を含めて審議し、適切に認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	園田学園女子大学短期大学部
設置者名	学校法人園田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_taishakutaishouhyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_jigyokatsudousyuushi_keisannsyo.pdf
財産目録	http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_kansahoukoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書 対象年度: 2019年度)
公表方法: 公表していない。
中長期計画(名称: 5～10年先を見据えた経営の創造的戦略の推進施策 対象年度: 2018年度～2027年度)
公表方法: 公表していない。中長期計画を基にした当該年度の事業報告をしているため、 2018年度事業報告書の中で見る事ができる。 ホームページアドレス http://www.sonoda-u.ac.jp/university/disclosure.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.sonoda-u.ac.jp/sonodawomenscollegereport.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.sonoda-u.ac.jp/accreditation.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生活文化学科、幼児教育学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.sonoda-u.ac.jp/university/foundingspirit.html) (概要) <大学の理念> ・教育：経験値教育により、他者と支えあう人間を育成する。 ・研究：健康・教育・生活に関わる基礎的研究を力に、社会が求める独自の応用的・実践的な研究に努める。 ・社会貢献：地域と共に歩みつつ発展する大学として、人と人の「つながり」を大切にした社会貢献を行う。 <大学の使命> ・社会的、精神的、そして経済的に自立した女性を育成する。 ・多様化する社会が直面する課題を発見し、解決できる実学を重視する。 ・地域と共に歩み、地域の活性化と課題解決の地（知）の拠点となる。 <めざすべき人材像（理想像）> 「自ら行動する力」「気づく力」「考えぬく力」を備えた人材の育成をめざす。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html) (概要) 生活文化学科 生活文化学科では、卒業要件を満たし、以下の能力を修得した学生に卒業を認定するとともに学位「短期大学士（生活文化学）」を授与する。 1. 生活文化に関する幅広い教養を身につけている。 2. 自らが課題を発見し、専門性を活かしてその課題を解決する思考力・判断力を身につけている。 3. 人生の目標を定め、生活文化領域の学びを実践する力を身につけている。 4. 社会や地域に貢献するために、他者と協働する力を身につけている。 5. 生活文化に関わる専門的スキルを身につけ、それを用いて自己表現ができる。 幼児教育学科 幼児教育学科では、卒業要件を満たし、以下の能力を修得した学生に卒業を認定するとともに学位「短期大学士（教育学）」を授与する。 1. 教養的学習を通じて、多様化する社会での課題に気づき、進んで解決しようとする力を身につけている。 2. 専門的学習や実習を通じて、幼児教育・保育の重要性を踏まえた専門職としての知識とスキルを身につけ、子どもを総合的に理解できている。 3. 幼児教育・保育の専門職としての価値観に基づく自律した社会人として、子どもを取り巻く社会に関心を寄せ地域社会に貢献する力、また保育者として生涯において学び続ける姿勢を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html)
(概要) 生活文化学科 生活文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次の方針でカリキュラムを編成・実施する。 1. 学科カリキュラムに総合科目と専門科目を配置し、教養と専門的知識・技能が修得できるよう編成する。（DP1、DP2、DP3） 2. 総合科目は生活文化を基盤とした分野の学習を通じて幅広い知識を習得して理解を深め、思考力、判断力を磨くことを目的として編成する。（DP1、DP2） 3. 専門科目は、学生各自の学習目標に応じて、製菓クリエイトコースと生活キャリアコースのそれぞれにおいて編成する。（DP2、DP3、DP4、DP5） 4. 製菓クリエイトコースの専門科目は、食産業の分野において意欲的、実践的に活躍するための資質を磨き、その能力を育成する科目を展開する。製菓に関する理論および専門知識を修得し、その上で実習等を通して他者と支え合う姿勢と実践的な技能を学ぶことを目的として編成する。実習は専門的技能の修得に対応した実習室を活用する。（DP2、DP3、DP4、DP5） 5. 生活キャリアコースの専門科目は、諸産業において女性として意欲的なキャリア形成が実現できるよう、高度な情報社会に必要な専門性と技能を修得し、社会人としての基礎的な力を育成することを目的として編成する。そのため充実した情報環境を活用し、ビジネスの場で必要な情報機器とソフトウェアの知識と技能、衣・住に関する諸産業において求められる専門性を修得するための科目群を展開する。またインターンシップは、企業における実務体験のみではなく他者と支え合う姿勢を学ぶことを目的として配置する。（DP2、DP3、DP4、DP5） 幼児教育学科 幼児教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次の方針でカリキュラムを編成・実施する。 1. 幼児教育・保育に携わる専門職として必要な資質（社会的常識、対人コミュニケーション能力、倫理観）を養成するために、共通科目を展開する。（DP1） 2. 経験をもとに気づき、理論を体系的に学び、幼児教育・保育に携わる専門職として必要な実践力を養成するために、専門教育科目を展開する。（DP2） 3. 専門職としての能力をさらに向上させるために、4週間連続の幼稚園実習の実施に加え、発達障害児支援実習・こども音楽療育実習を実施する。（DP2） 4. 地域に貢献できる自律した社会人を育成するために、地域の幼稚園や保育所などと連携事業を実施する。（DP3）
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html)
(概要) 生活文化学科 生活文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めている。 1. 高等学校の教育課程を幅広く修得している。 2. 衣食住の分野において教養と専門的技能を修得し、現代社会において職業として活かそうとする意欲がある。 3. 高等学校までの履修内容のうち、「国語総合」もしくは「コミュニケーション英語Ⅰ」

について、基本的知識と読解力を身につけている。

4. ある事柄に対して理解し、自ら考察して自分の考えをまとめることができる。

5. 自分の考えを日本語の文章で他者に伝えることができる。

6. 他者の主張を理解し、自分の意見を表現するために必要な日本語コミュニケーション能力を有し、他者と協働することができる。

幼児教育学科

幼児教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる知識・技能や能力・目的意識・意欲を備えた人を求めている。

1. 高等学校の教育課程を幅広く修得している。

2. 保育者の社会的使命や役割を理解し、幼児教育・保育の専門職としての倫理観を養い、地域社会に貢献する熱意と意欲を持っている。

a) 子どもの成長と発達に関心を持ち、積極的に学ぼうとする意欲を持っている。

b) 虐待や障害などによるハンディキャップがある子どもの支援や福祉に関心を持ち、理解しようとする意欲を持っている。

3. 高等学校までの履修内容のうち、「国語総合」と「コミュニケーション英語Ⅰ」を通じて、コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。

4. ひとつの物事をさまざまな視点から捉えられるように、運動・音楽・美術などの実技に関心を持ち、理解しようとする意欲を持っている。

5. 自らの健康状態や生活習慣に対する管理ができている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.sonoda-u.ac.jp/university/org.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
生活文化学科	－	4 人	4 人	0 人	0 人	0 人	8 人
幼児教育学科	－	3 人	5 人	0 人	1 人	0 人	9 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2 人		41 人					43 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://seed.sonoda-u.ac.jp/sndhp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
・全学の教職員が一同に参加する全学F D研修会を年に1 度開催している。 ・教職員と学生が同じテーマで話し合う「授業について話し合う会」を年に1 度開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活文化学科	90 人	65 人	72%	180 人	107 人	59%	0 人	0 人
幼児教育学科	120 人	101 人	84%	240 人	151 人	62%	0 人	0 人
合計	210 人	166 人	79%	420 人	258 人	61%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活文化学科	71人 (100%)	2人 (2.8%)	60人 (84.5%)	9人 (12.7%)
幼児教育学科	69人 (100%)	1人 (1.4%)	61人 (88.4%)	7人 (10.1%)
合計	140人 (100%)	3人 (2.1%)	121人 (86.4%)	16人 (11.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
生活文化学科	75人 (100%)	70人 (93.3%)	0人 (0%)	5人 (6.7%)	0人 (0%)
幼児教育学科	71人 (100%)	65人 (91.5%)	4人 (5.6%)	2人 (2.8%)	0人 (0%)
合計	146人 (100%)	135人 (92.5%)	4人 (5.6%)	7人 (4.8%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) WE Bシラバスにより、ホームページ上で授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画を公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) あらかじめ学生に示された授業計画（シラバス）により、各授業科目の成績評価の方法、成績評価の基準に従って、学修成果の評価が行われている。この学修成果の評価に基づき、単位の授与が行われている。成績評価の方法は、授業科目により、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法が設定されている。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	生活文化学科	64単位	有 無	56単位
	幼児教育学科	64単位	有 無	48単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpa.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.sonoda-u.ac.jp/campuslife/guide.html>
<https://www.sonoda-u.ac.jp/campuslife/facility.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	生活文化学科	760,000円	200,000円	300,000円	
	幼児教育学科	760,000円	200,000円	350,000円	
	幼児教育学科 (長期履修生)	508,000円	200,000円	236,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）学生からの質問や相談を受ける教員のオフィスアワーの時間を設定している。各学期開始時期に、教務課員が成績不振者に対する学習支援指導を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）1年次に進路ガイダンスを必修で実施するとともに、全員と1人30分の個人面談を実施し、個々に異なる進路についてきめ細やかな支援を実施している。 また、平日はキャリアカウンセラーが常駐し、事前予約をすることでいつでも専門家に相談できる体制を整えている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生支援基本方針の5つの支援のうちの「生活・健康支援」で目指しているとおり、学生自らが豊かな学生生活を送るための環境を保障し、学生自身が必要とする学生生活・健康支援を学生の視点にたって、組織的に行っている。具体的には「保健指導室」では看護師が常駐しており、心身の健康について心配事や、急に気分が悪くなったり、けがをしたりしたときは学生支援部と連携をとりながら迅速に対応している。また、学校保健法に基づいて定期健康診断を毎年春に実施。身体測定、内科検診、尿検査、胸部レントゲン検査のほかに、必要に応じて心電図検査も行っている。「学生相談室」では落ち着いた静かな個室で、専門のカウンセラーがじっくり相談にのれる体制を整えている。プライバシーを厳守しながら、学生はもちろん保護者でも相談が可能で、直接話すのが苦手な場合は電話や手紙でも受け付けており、希望によっては何回か継続して相談ができる体制をとるなどの支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.sonoda-u.ac.jp/university/research.html>